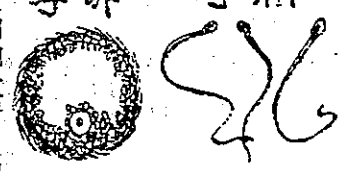
胎兒的成長

誰都知道胎兒是父母結合而產生的，可是生命是如何開始？生命是怎樣發育成長的？是怎樣生出來的？這些問題在歐美成人的生產教育及兒童性教育，有公開討論研究以及模型展覽，而我國教育落後，把這問題視爲污褻而不值一談，其實這是生理現象，做父母的不但都應瞭解其中過程，而且應以光明磊落的態度向孩子們解釋有關性的各種問題，這樣可以建立健全性生活的觀念以及育嬰常識等減少社會的無知。

生命的創造——受精

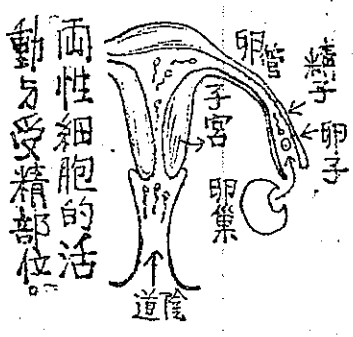
胎兒形成是男性細胞（精子）與女性細胞（卵子）結合而成的。



精子非常細小，是由睾丸內的上皮細胞分化而成的，肉眼不能看見，分頭尾兩部，頭部較大，有高度的活動性，靠尾運動而前進。男子每次性交時可有三億至五億的精子產生，但只有一個精子能與卵細胞結合。

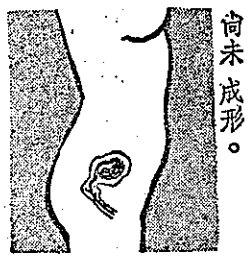
卵細胞是人體內細胞中最大的。如針尖般大小，肉眼恰恰可以看見，卵四週作放射狀，有上皮細胞數層，中有原形質。

卵細胞產生於卵巢中，每月僅有一個成熟，成熟後進入輸卵管中，若此時沒有與精子遇合就經子宮陰道排出體外。若成熟卵在輸卵管中時，有一精子頭部穿入卵細胞內，這兩個生殖細胞原形質的溶和，就是一個新生命的開始了！



生命的培育——娠姙

卵在受精後變化非常複雜，受精後是爲胚胎進入子宮內，而附着於子宮內膜的組織上，此時受精卵吸收子宮脫落膜發育成胎兒的附屬物如胎盤、羊膜、臍帶等。以後胎兒依靠此三種新機構的保護並與母體巧妙的連繫在一起。胎盤如一塊扁平的餅，底面和子宮內壁直接粘貼，中部連臍帶。胎兒的血由臍帶流向胎盤，和母體子宮血液以一層薄膜隔開，然兒母體的營養和胎兒的排洩都由臍帶孔道出入，胎兒行寄生生活，正如我們體內的十二指腸蟲及蛔蟲等寄生蟲營寄生生活一般。


胎兒六星期時，尚未成形。

羊膜是兩層薄膜，由胎盤邊緣發出，一層靠近子宮內壁，一層緊緊的包住胎兒。兩層羊膜圍成羊膜腔，內中充滿羊水。這羊水袋子使胎兒各部發育不受周圍組織的阻碍，調節溫度，更有一些營養和排洩作用。羊水可滑潤產道，減少生產困難。

六個月時，胎兒已經長得很完全了。

臍帶是一根白色搓扭的帶子，有三根血管，爲輸送血液的機構，普通直經有半英寸，長廿四英寸。嬰兒產出後，應注意使其脫開而不纏着嬰兒。

因爲胎兒營養是從母體吸取的，所以母親姙娠期中飲食能影響母子身體的健康，在此期中母親應多注意攝生方法，並常常請醫生檢查身體以免發生意外。（請參看本報第一卷第十、第十一期之孕婦生活及第二卷第十九期孕婦與營養兩篇）。

卵子自受精之日起至分娩約需二百八十日。胎兒發育成熟，自然脫離母體而生活。

生命的開始——分娩

（一）分娩開道壅，縮收宮子，始開姙孩道壅入進，動轉的一之分四作頭的孩嬰，放開道壅，縮收宮子，始開姙孩

分娩期近，胎兒的部位降低下去。

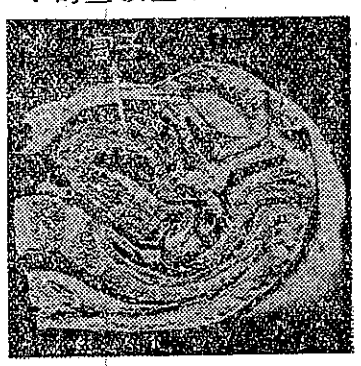
不過前後總不會超過一兩星期的（產期預計請參看第三卷第七期我的孩子那天生？一篇）。

正常分娩共分三期

一、第一期爲陣痛開始，子宮口全部張開時期。至此期胎兒下降，起初陣痛輕微而間歇較長，以後逐漸陣痛加强同時間歇縮短，有微量出血，待破羊水後子宮口全部開張。早期破水與延滯破水都能影響母子生命安全。

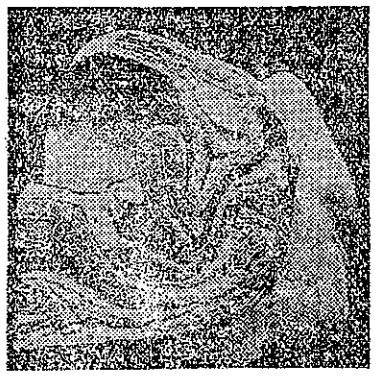
二、第二期爲排出期，破水後陣痛强烈而頻繁，胎兒進入產道內，此時產婦最爲痛苦，待胎兒頭露出產婦體外身軀隨之而出，于是一新生命開始。

三、第三期爲後產期。胎兒產出後，陣痛一時停止，十五分鐘後子宮再收縮而感陣痛，是爲後產期陣痛，此時因爲胎盤與子宮剝離而有流血現象，後產期多量出血，影響產婦生命安全，所以後產期應注意產婦是否流血過多以上是說生產的生理現象，致于怎樣護理產婦、胎兒、嬰兒各方面的種種問題以後再談。


弛鬆而大脹宮子，後產生剛（四）

（三）嬰出而之隨盤胎帶臍，後世出孩

（二）嬰孩出世時，肩部轉動來配合產道壅的形狀。


（五）產生後六星期，子宮原來檢查的位地與狀形。

正常分娩預計爲最後月經第一日起算二百八十天，因產婦生活方式，活動情形的不同而有差別，

分娩或生產就是指在子宮中發育成熟的胎兒藉自然力排出體外的現象，生產是生殖過程中最後的一個階段，而那一霎間却又是人生的開始。

今期是別紙の「豐年畫報」で、蛔蟲についての寫眞說明があるので、それを參照しながら、この文をお讀みください。

農村に多い蛔蟲

農村に居る人なら、大概の人は蛔蟲を見て知つているでせう。これは臺灣の農家では、他の東洋諸國と同じく、多量の人糞尿を肥料として使用しているため、その中に散在している蛔蟲の卵が、傳播して人體に入りこむからです。だから、農村では、少くとも學童の半數以上は蛔蟲が寄生しているため思つてよいでせう。蟲が出て來た經驗など無いと云ふ人もあるでせうが、實際には、これ等の大部分の人は體內で蛔蟲が育つて、知らぬ間に出ている事が多いのです。

輕視されている蛔蟲の害

蛔蟲の病狀は、次のように多種多樣です。

△全く症狀が現れず、蟲が出て、初めてびつくりする事があります。また、蟲は肛門からばかりでなく、口から出る事もあります。

△蛔蟲の症狀の中では、腹痛がもつとも多いのですが、普通の腹痛から、胃痙攣（イケイレン）の樣な激しいものまで、いろ〳〵あります。

△身體がだるく、食慾が落ちる事があり、その反對に、却つて食慾の良くなる事もあります。嘔吐・吐氣・下痢をする事もあります。

△鼻の孔が乾いて、不機嫌になり、神經過敏になります。

△右下腹の痛む「蟲樣突起炎」と同じ樣な症狀になる事があり、また黃疸を起す事もあります。

蛔蟲の危險なのは、右の樣にいろ〳〵な症狀があるので、間違つて他の病氣と誤診される場合が多い事です。

（表圖的に學校で驅蟲劑で予防に効果がある）
吞子卵蟲蛔驅劑

蛔蟲の發生

蛔蟲の卵は、大便に混じて體外に出るものですから、蛔蟲を防ぐ根本的な方法は糞尿の處置と云ふ問題になります。

歐米では、便所は水洗式で、肥料も大部分が化學肥料であるため、蛔蟲の發生は東洋の諸國よりも比較にならない程少いとされています。臺灣で蛔蟲の多い原因は、都市、農村の便所が、全て汲取式へ畫報の圖六）で、これから汲取られた糞尿は直ちに肥溜め（畫報圖七）に運ばれて、肥料として使用されるからです。

蛔蟲の卵は糞尿に混入して、作物に施されるので、野菜には蛔蟲の卵がたくさん附着しているのは勿論で、この

然し、ここに特に注意したい事は、蛔蟲の寄生は余りにも農村では普遍的で、また重病でないので、治療をせずに、そのまま放任され、輕視されがちな事です。例へば、蛔蟲によつて、腹痛になつても、一時的のもので、暫くすると自然に回復する事が多いので、藥を呑むことを忘れ、度重なると遂には腹痛になつても、自然に治るまで待つと云ふ悪い習慣がついてしまいます。然し、輕症の蛔蟲でも長く續くと、子供の發育を阻害し、犬人でも食慾不振、元氣が無くなつたりして仕事の能率が落ちます。そして、蛔蟲は一人二人でなく、農村の大部分の子供に寄生しているのですから、全體から見るとその害は實に大きいと云くませう。拜拜には浪費したり、豚には驅蟲劑を呑ませるのに、自分の子供が蛔蟲で腹痛になつても、治療をしないため野菜は充分に煮てから食用にしなければなりません。然し、蛔蟲の傳播の原因は、野菜から口に入るよりも、蛔蟲の卵が風に吹き飛ばされるための方が大きいとされています。農業的に云へば人糞尿を施す時は、大悪、作物の根本や側に施されます。從つて、蟲卵は野菜の葉莖よりも、多くは畑の地上に落ち、そこで發育し、畑が乾くと、卵は風によつて方々に吹き飛ばされます（畫報圖八）。風に乘つて卵は到る所に旅行しますから、農村の生活は蛔蟲の卵に取り圍まれた生活と云つてもよい位です。或る日本の學者が、農家の塵所やタタミのゴミを集めて顯微鏡で見てみたら、蛔蟲の卵の多いのに驚いたとの事です。この樣に農村の到る所に散在する蟲卵は食物食器について口に入り、手指をなめたり、紙幣を數へる時にも口中に入ります（畫報圖八）。殊に子供は手指をなめたり、不潔なものを口に入れる事が多いので、蛔蟲の卵が口中に入る機會も多くなるわけです。

蛔蟲を完全に撲滅するためには、肥料は全部化學肥料にし、便所を改良するのが一番よい方法ですが、これは臺灣では恐らく數十年しても實現が困難でせう。故に現在としては、各人が豫防と治療に努めるより他に方法がありません。

豫防と治療法

【豫防】食事前、用便後、外出後、お料理をする時など、手を洗うこと。赤チャンは手をなめる癖があるから、特に注意すること。

野菜の根や葉、特に株元には蟲卵がついていますからよく洗つた後、煮て食用にする。蛔蟲の卵は熱に非常に弱く、攝氏五〇度では四十五秒間で死にます。

【治療法】驅蟲劑を使用します。藥量は少すぎると效果が無く、多すぎると中毒しますから、醫者に相談してから服用した方が安全です。驅蟲劑にも色々ありますが、サントニン劑でしたら、一日量を一回に用ひる方法と、朝と夜の二回に分けて服用する方法があります。